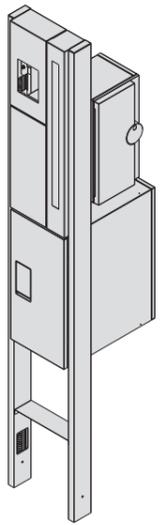
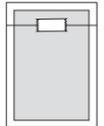
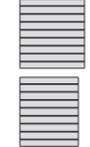


梱包内容

施工前に各パーツが入っていることをご確認ください。インターホン子機は別売品となります。

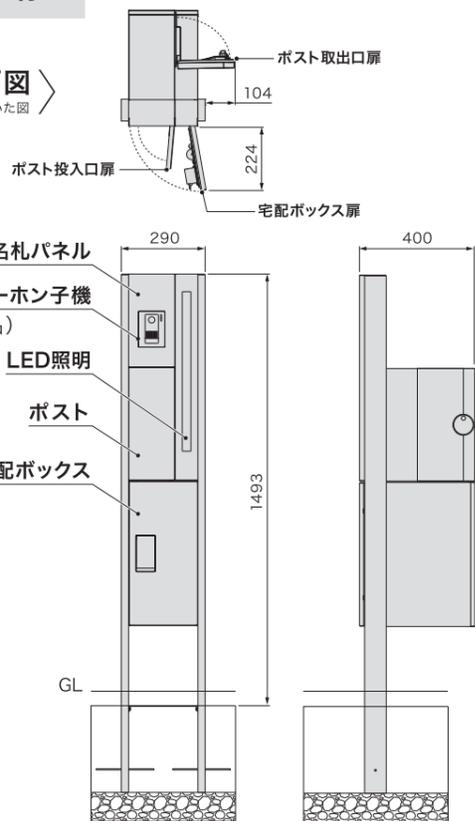
 <p>門柱ユニット 1台</p> <p>インターホン取付仕様 or インターホンなし仕様 及び、ポストの左右勝手をご確認ください。</p>	施工説明書(本書) 1枚 	取扱説明書 一式 	名札背板 1枚 	ポスト用スノコ (大・小) 1セット 	宅配ボックス用 スノコ 1枚 	抜け止め 2本 
	インターホン取付仕様・・・各2個 インターホンなし仕様・・・各1個		インターホン取付仕様のみ付属		インターホンステー 1個 	
コネクタ CD管 φ14用 	コネクタ PF管 φ16用 	ジョイントナット 		CD管φ14 (支柱内部に収納) 		なべ頭ねじM4×8 2本 

製品納まり図・各部の名称

インターホン 取付仕様

※下記図はポスト扉が「右勝手」の場合

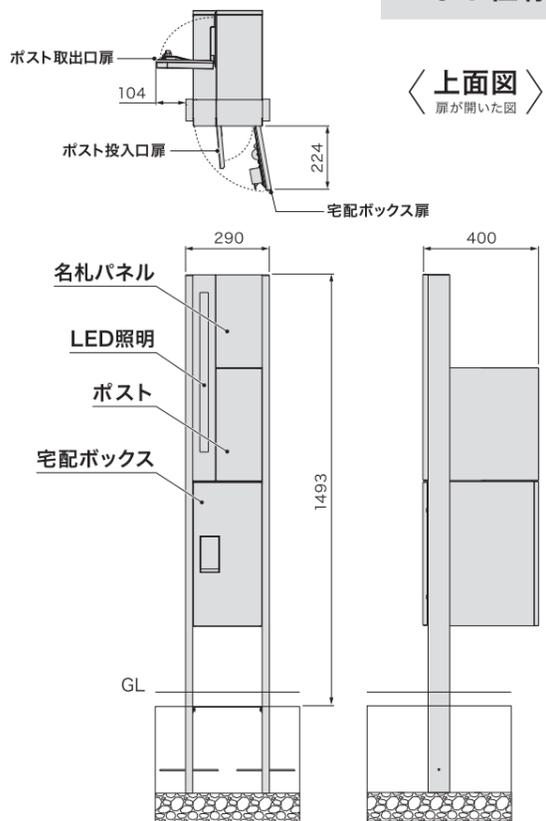
〈上面図〉
扉が開いた図



インターホン なし仕様

※下記図はポスト扉が「左勝手」の場合

〈上面図〉
扉が開いた図



NASTA

工事店様用

施工説明書

クォール 門柱ユニット KS-GP16AKT

工事店様へ

施工の前にこの「施工説明書」をよくお読みの上、正しく施工してください。

- 施工前に外観の損傷がないこと、動作に問題がないことを確認してください。
- 施工中に製品が損傷しないように十分な養生を行ってください。
- 施工が原因で発生した損傷や故障については当社では責任を負いかねます。

安全上のご注意

ご利用の方や他者への危険・損害を防止するための重要な内容ですので必ずお守りください。

- 説明を無視した使用方法によって生じる(危険や損害の程度)を次の表示で区分し説明しています。

	警告	この表示の欄は「死亡や重大な事故の発生が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は「けがや物的損害の発生が想定される」内容です。

- お守りいただく(内容の種類)を次の絵表示で区分し説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

	このような絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。
	このような絵表示は必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

- 交流100V以外の電源で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 調光機能及び、水銀灯器具のついた回路への接続はしないでください。
- 蛍スイッチ(表示灯付きのスイッチ類)及び人感センサー類は使用しないでください。LEDに弱電流が流れると、完全に消灯しない場合があります。
- 非常用照明器具、誘導灯器具として使用しないでください。
- 分解・改造は絶対にしないでください。火災や感電の原因となります。

- 配線工事は法規にしたがって必ず有資格者が行ってください。誤った配線工事は漏電、感電や火災の恐れがあります。
- 分電盤からLED照明までの配線は専用回線を使用してください。他の機器による負荷を防ぐためです。
- 施工と清掃の際は、必ず電源を切ってください。

注意

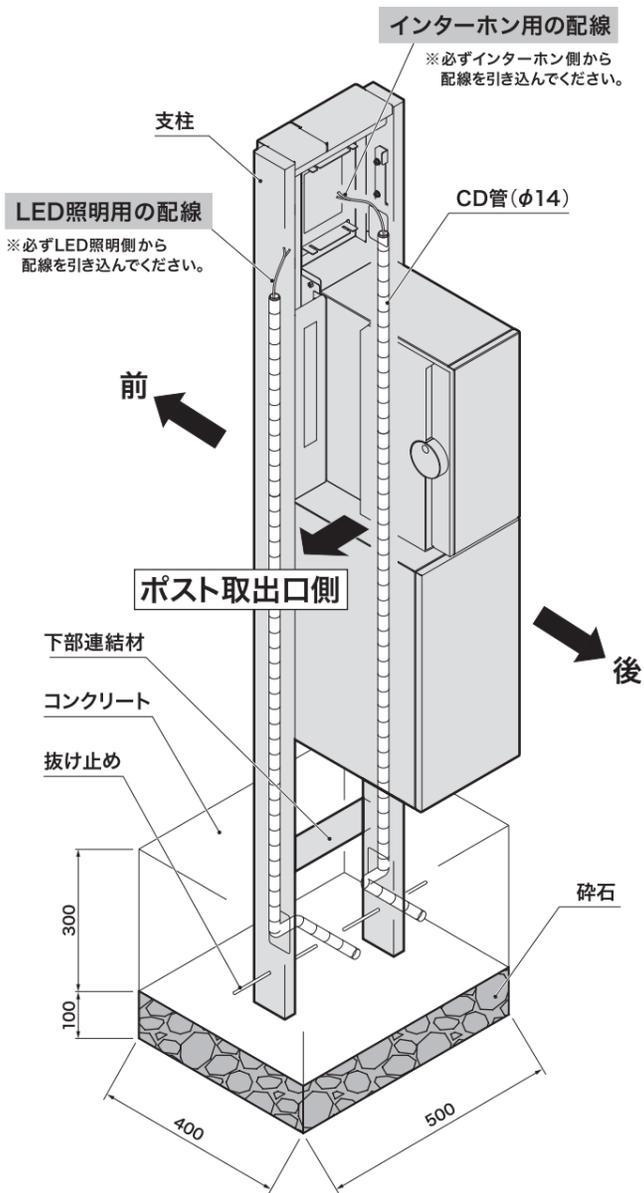
- 通行の妨げとなる場所に設置しないでください。けがの発生や事故の恐れがあります。
- 本体に重い物を乗せたり、寄りかかたりしないでください。
- ホース、高圧洗浄機による直接の水洗いはしないでください。故障の原因となります。

- 付属部品の取り付けの際は締め過ぎに注意してください。
- 工具等で電線を傷つけないよう注意してください。
- 腐食の原因になりますので、基礎用コンクリート及びモルタルに急結剤、海砂を使用しないでください。
- 製品の意匠面にコンクリート、モルタルが付着した場合は速やかに清掃してください。
- LED照明を取り付ける際は主電源を切ってから行なってください。
- LED照明はD種接地工事を行なってください。
- 重量物のため、取付時は必要に応じて2人以上で行なってください。
- 製品取付後、外装工事を行う場合は、十分な養生を行なってください。
- 製品に化学薬品(酸・シンナー等)をかけないでください。塗装はがれやさび発生等の原因になります。

梱包内容は《裏面》をご覧ください。

施工方法

以下の手順にしたがって施工してください。



- ### 1 基礎に穴を掘る。

左図と下記寸法を参考に、基礎に必要な穴を掘ります。

参考寸法 ●幅・・・500mm ●深さ・・・400～500mm ●奥行・・・400mm
- ### 2 穴に砕石を敷く。

1で開けた穴に砕石を敷いて底を突き固めます。

注意 砕石を敷かないと支柱内部に水が溜まり、腐食の原因になりますので必ず敷いてください。
- ### 3 配線を引き込む。

 - LED照明用の配線を、LED照明側のCD管から門柱内部へ引き込んでください。
 - 〈インターホン取付仕様〉の場合は、インターホン用の配線をもう一方のCD管から門柱内部へ引き込んでください。
 - PF管を使用する場合は付属のコネクタでCD管と接続してください。

CD管(φ14)

コネクタ CD管(φ14用)

ジョイントナット

コネクタ PF管(φ16用)

PF管(φ16)
※現場手配となります。

注意 LED照明とインターホン子機の配線をする場合は、必ず左右のCD管から別々に引き出してください。
- ### 4 仮固定する。

水平を出しながら門柱を立てて、支持柱(現場手配)等で仮固定します。仮固定したら左右の足の下部にそれぞれ抜け止めを差し込みます。
- ### 5 コンクリートを流し込む。

下部連結材が少し埋まるくらいが目安です。
- ### 6 盛り土等で仕上げる。

コンクリートが固まったら支持柱を取り除き、盛り土等で表面を仕上げてください。

インターホン子機取付方法

〈インターホン取付仕様〉の場合は以下の手順にしたがって施工してください。

- ### 1 インターホンステーに、インターホン子機を取り付ける。

付属の[なべ頭ねじM4×8]を使用し、2ヶ所に取り付けます。

インターホンステー

インターホン子機ベース

なべ頭ねじM4×8

インターホン子機
- ### 2 ボルトを取り付ける。

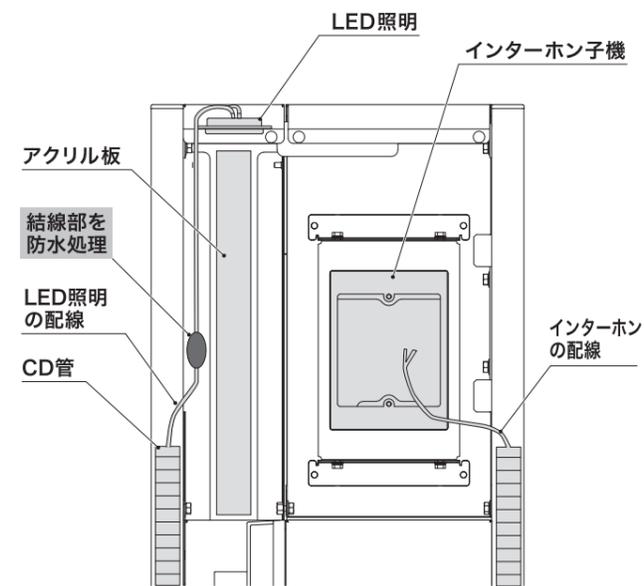
インターホンステーの上下4ヶ所に付属の[アプセットボルトM4×8]を隙間2mm程度を空けた緩めの状態で取り付けます。

アプセットボルト M4×8
- ### 3 門柱ユニットに取り付け、前後を調整する。

 - インターホン子機の厚みに合わせてインターホンステーを前後に動かし適切な位置にします。
 - 2で緩めに取り付けた[アプセットボルトM4×8]を増し締めして固定します。

結線方法

以下の手順にしたがって施工してください。



- ### 1 LED照明を結線する。

LED照明を結線してください。(結線部は防水処理を施してください。)

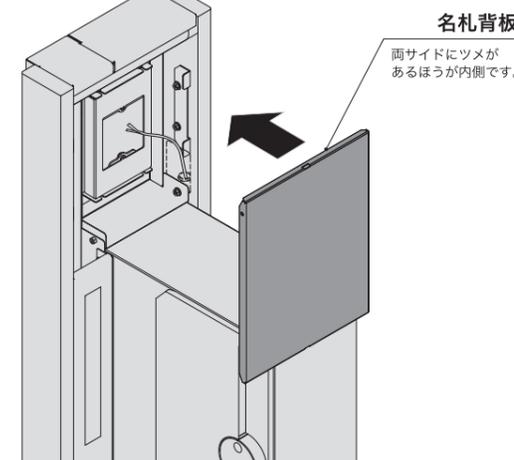
注意 防水処理を施さないとショートのおそれがあります。必ず防水処理を行ってください。
- ### 2 結線部を支柱横穴に入れる。

配線がアクリル板に重ならないよう、結線部は出来る限り支柱横穴に入れてください。配線がたわんでしまう場合は、ビニールテープ等で止めてください。

注意 配線がアクリル板に重なると影になります。配線は支柱横穴に収納してください。
- ### 3 インターホン子機を結線する。

インターホン子機をインターホンの説明書にしたがって結線してください。
- ### 4 結線終了後、名札背板を押し込む。

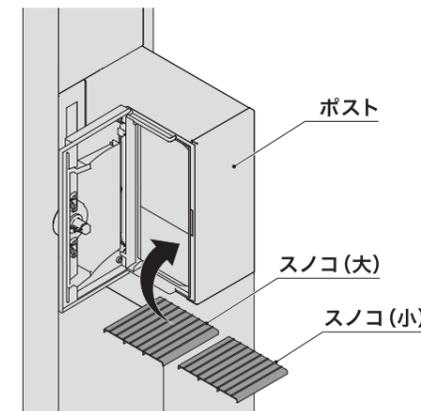
名札背板を「パチン」と音が鳴るまで強く押し込んでください。両側のツメがしっかり入り込んでいることを確認してください。取り付けの際は配線を傷つけないようにご注意ください。



スノコの敷き方

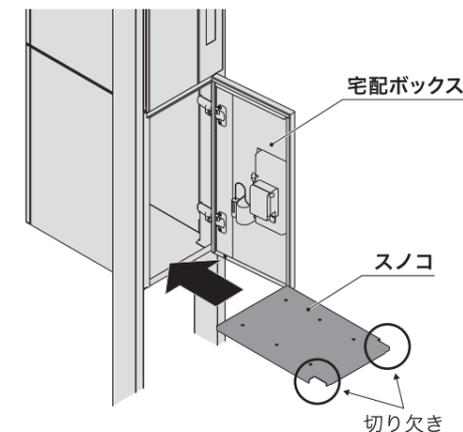
- ### 1 ポストにスノコを敷く。

サイズが2種類(大・小)あります。下図のように〈大〉〈小〉の順で敷いてください。

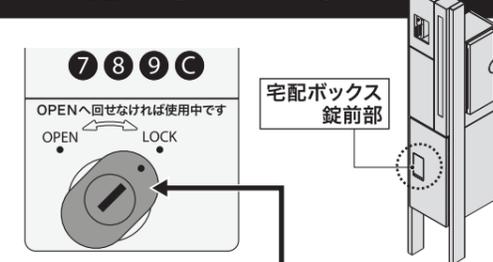


- ### 2 宅配ボックスにスノコを敷く。

下図のように切り欠きが手前に来るように敷いてください。



施工後のお願い



宅配ボックスの錠前のツマミを、右側(LOCK)に回して、扉が開かないようにしてください。扉が風等で開き、けがをする恐れがあります。お客様に引き渡すまでの間は必ず上記を行なってください。

※〈取扱説明書〉一式をお客様にお渡しください。